

## 記念講演 「広い世界にはばたこう、未来を創るのは貴方」

石倉洋子

### 卒業 50 年後に母校へ

2017 年 6 月 1 日、50 年前！に卒業した横浜のフェリス女学院で、147 周年創立記念講演をしてきました。私は、未来の世界を創るのは若い世代だと強く信じているので、大学生や高校生を対象とした講演のご依頼をいただくと、日程さえあれば、ほとんどの場合、いってお話しします。

特に、今回は私が中学高校の 6 年間で過ごしたフェリスですし、これまで私がやってきたことや今考えていることなどは、フェリスで過ごした 6 年間、そしてその後のクラス会などに大きな影響を受けていると感じているので、この講演のことはとても楽しみにしていました。

### 雨の中？のカイパー記念講堂

あいにく天気予報も雨でしたし、フェリスについてた時も雨模様でしたが、中学生高校生が 1000 名位いる中で、記念式典の後、講演を始めました。

実は、創立記念日は通常お休みの所が多いので、『雨の中来た甲斐があった！と思ってもらうように皆さんに興味のある話にします！』と最初に言おうかと思っていました。でも、ちょっと記念式の雰囲気合わないかな、という気もしたのでやめたのですが、ハーバード大学を中退した Facebook の創業者 Mark Zuckerberg が、土砂降りの中屋外で開かれたハーバード大学の卒業式の記念講演で、同じようなことをいっていたので、「やられた！言えば良かった！」と思いました。

私も毎朝礼拝をしていたカイパー記念講堂は、改装されて、すばらしいパイプオルガンがあり、以前より広い感じでした。記念式典は、校長先生のお話や長年勤続の方々への生徒会からの花束贈呈のとてもセンスがあるコメントが印象的でした。

### 今世界は？

私の講演は、「広い世界にはばたこう、未来を創るのは貴方」というタイトルにしたのですが、まず、今どんな時代か、世界はどうなっているのか、を私なりに説明しました。ちょうど G7 が終わった所で、米国とヨーロッパの見解の違い

などが見えてきて、世界情勢もこれまでの枠組みでは考えられなくなっている時だったので、世界は混沌として不確定要素が多いと紹介したのです。また、世界を動かしている原動力のひとつがテクノロジーであること、その力で世界がつながっていること、これまでとは違うスピード感覚が必要なことなどを説明しました。

### 私の経験や生活を紹介

「世界は広いからいろいろなことができる。おもしろいことをやっている人たちがたくさんいる、狭い所にとじこもっていないで、広い世界を自分の目でみて感じてほしい」というメッセージを伝えるために、私自身の経験や生活を示す写真をかなり見せました。

フェリス時代、体育祭で応援団をやった、大学から留学した、会議で行ったエチオピアやドバイなど。また最近経験した VR や斬新なデザイン、東京とニューヨークにいる 95 歳から 8 歳までの家族のこと、投げられるけど投げると気分転換になる合気道のクラスやとても好きな飛行機やヨットなどです。

これからは「個人」の時代。自分の人生は自分で決める！

これからの時代は「個人」でできることが多いこと、自分で考えることが大事なことをお伝えしました。両親や先生などがその経験から良いと思っていることと、これからの時代はかなり違う可能性がある、両親や先生、それに私が若かった時代と若い人が生きる時代は全く違うのだから、周囲のことをそのまま受け入れるのではなく、自分で考えて、道を切り開いた方が良い。つまり両親や先生など周囲が敷いたレールに沿って進むのではなく、自分の人生を生きること、自分の人生なのだから、「貴方は誰、どこへ行こうとしているのか」を考える、そしてそれをどんどん進化させていくこと、を強調しました。

### 私にとってのフェリス

なぜ自分の人生を生きるのは自分だから、皆さんも自分の人生を生きて、ストーリーを語ってほしいと強調したかということ、これが私自身フェリスで学んだ一番大切なことだと感じているからです。つまり、少なくとも私がいたころ、フェリスでは、「自分で考えて判断する、その結果は自分で責任を持つ」ことが奨励され、それが今の私にとってとても大きな財産になっていることを在校生の

皆さんに伝えなかったのです。

#### 明日へのアドバイス

私自身いつも実践しようとしている「常に新しいものにチャレンジする」「あまり先まで考えすぎずにまずやってみる、(そうすると意外にできることがある)」、そして「他の人に書いてもらうのではなく、自分のストーリーを自分で書くこと」を明日へのアドバイスとしました。

最後は、「自信」は自分を信じることであって他の人が与えられないこと、何かにチャレンジする時は、できるかな、と誰でも思うけど、できる！にかけて、やってみる、つまり Yes, We Can, Do it, Learn from it が大切だと言って講演を終えました。

#### 楽しい質疑応答の時間

その後、皆さんから、失敗した時どうするのか、今日来ている洋服はどうやって選んだのか、凄い人になるにはどうしたらよいか、など質問を受けました。質疑応答はいつもとても楽しくて、私も学ぶことが多い時間です。

その後、この講演のことをブログに書いたら、数人の方からコメントをいただき、とてもうれしく思っています。こうした講演は、コンサートでアーティストが観客からエネルギーをもらうのと同じように、講演している私がみなさんから大きなエネルギーをもらうのです。この日もその通りで、この人たちがこれからの時代を創るのだなあ、もっとこの人たちが自由に発言し、活動できる社会にしたいなあ、と心から思いました。私も頑張らなくては、と元気が出ました。どんな時でも若い人と直接触れるのはとても素晴らしいことですが、卒業後50周年にこうした機会を与えられて、本当に感謝しています。